

(1)

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# 神島2連覇で全国へ

## 県高校駅伝 女子の部 全区間でトップ

県高校駅伝競走大会(県高校体育連盟、和歌山陸上競技協会主催)が2日、日高川町田尻の旧川中第一小学校周辺コースであり、女子の部で神島高校が2連覇を果たした。全5区間とも区間賞を獲得する活躍で、2位と3分以上の差をつけ圧勝した。全国と近畿大会に出場する。

(9面に関係記事)

全国と近畿大会の予選を兼ねた大会。女子は8チームが出場し、5区間計21・097

5<sup>分</sup>でタイムを競った。神島は1区の山本明日香選手(2年)からトップに立ち、その後2区の橋本奈津選手(同)、3区の木村仁美選手(同)、4区の中松利恵選手(3年)がいずれも2位との差を広げ、たすきを引き継いだ最終ランナーの那須千晴選手(同)がそのままトップでゴールした。タイムは1時間12分22秒で、昨年の大会より1分10秒縮めた。

長山丞監督(33)は「優勝はできたが、力を出し切れず、課題が残る結果となった」と振り返った。目標タイム(1時間11分25秒)を約1分オーバーし、「事前の体調管理や精神的なものが影響したかもしれない」と話した。

近畿大会は今年16日に京都府京丹後市で、全国大会は12月21日に京都市で開かれる。全国では1時間9分50秒を目標にしており、選手たちは「昨年は悔しい思いをした。目標をクリアし、20位以内に入りたい」。長山監督は「全員が実力を出せば達成できる。しっかり調整し、故障者も出さないようにしたい」と意欲をみせた。



トップでゴールする神島のアンカー、那須千晴選手  
(2日、日高川町で)

男子は13チームが出場し、7区間計42・195<sup>分</sup>で戦った。和歌山北高校が2時間12分13秒で優勝し、全国と近畿大会出場への切符を手にした。

日高地方以南では3区で田辺工業の阪口俊平選手、4区で日高の野田康介選手が区間賞に輝いた。男女とも6位までが近畿大会に出場する。2位以下は次のチーム。かっこ内はタイム。

【男子】②日高(2時間15分28秒) ③桐蔭(2時間15分48秒) ④田辺工業 ⑤和歌山工業 ⑥田辺

【女子】②和歌山北(1時間16分50秒) ④日高 ⑤箕島 ⑥和歌山商業